

雲の芸術

青空に描かれた

刷毛でさっと掃いたかのような巻き雲。雲の表情はめまぐるしく変わる。山稜でふと見上げると、そこに雲があった。



北上山地を走る 大草原の風



天然の野苺が広がる安家森山麓の安家平。奥に見えるのが安家森のピーク(1239.1m)である。頬をすすり抜けていく風の感触を楽しみながら、のんびりゆったりと歩いてみたい。

Guide



泊

葛巻高原プラトー
牧場の中にある宿泊施設。酪農を中心としたグリーンツーリズムを体験できるほか、葛巻自慢の地場産品を味わえる。1 0195-66-0555



食

森のそば屋
水車の石臼で挽いたそば粉を原料に、地元のおばちゃんの手打ちしたそば。そばは全国的に有名。独特の甘味とコクが自慢で、そば王国の岩手県民が認める本格派。1 0195-66-4111



安家森のある神山高原一帯では、風力発電が行われるなど、風の名所として有名。雄大な自然美を心ゆくまで楽しみたい。



プナヤダケカンバの古木が立ち並ぶトレイル。遠別岳山頂はもうすぐ。山頂からは葛巻の町並みを一望にできる。



馬淵川の源流。清らかな水を沸かして飲むコーヒーは旅の思い出。春の芽吹き時期だったので、青草の優しい香りをかすかに覚えた。

コースタイム / 登山口から安家森(35分)、遠別岳(60分)
アクセス / 東北自動車道一戸ICから安家森登山口まで約2時間。
山行アドバイス / 登山口にはトイレが完備された無料駐車場がある。林内には牛の踏跡等があるため、トレイルから外れないように気をつけよう。特に霧などが出ているときは注意。
問合せ先 / 葛巻町役場企画財政課 1 0195-66-2111



山頂(1078m)では信仰の山らしく小さな祠がいくつか並んでいた。祠の脇では小さな狛犬が、雲の芸術をじっと見つめていた。



雲海にぼかり浮かんだ七時雨山(中央)と岩手山(右奥)。9合目付近で樹林帯が終わり、眺望のよいトレイルが続く。



出発してからの約20分はダケカンバの森を進む。白い梢からのそく青空が何となく清々しい。



コースタイム / 高原登山口から稲庭岳まで40分
アクセス / 東北自動車道代代ICより高原登山口まで約1時間。八戸方面からの場合は浄法寺町ICが登山口への最寄りとなる。
山行アドバイス / 登山口は炊事場とトイレが完備されており、稲庭岳キャンプ場は無料で使用でき、稲庭岳キャンプ場は無料であり、そちらも合わせて歩いてみたい。
問合せ先 / 浄法寺町役場企画課 1 0195-38-2211

自慢なのだ。安家森から遠別岳へ向かうトレイルの表情は一変した。プナヤイチイ、ダケカンバの古木が並び立ち、大地には横たわった倒木はほとんども土と化していた。明るい野原と原生の森、ふたつの世界をつないでいるのは、吹く風であった。

馬淵川、安家川の源流部に位置する安家森。豊かな水脈を支える深い山並みを想像していたが、その印象は見事に外れた。トレイルを進み、しばらくして突然現れたのは広々と吹き抜ける風の群れだった。そして次々と吹き抜ける風の群れだった。

「森とは岩手の言葉で、大地の盛り上がり」を意味するが、山頂部に笹と灌木が茂るだけであるとした山容の安家森は、まさに森そのものである。6月頃には、この草原の至るところでキンポウゲやアズマギクの群生も見られるという。風に揺られる花と草原。山に來て、ひとときの桃源郷にたどり着く、そんな夢見心地がこの山の自慢なのだ。

【あつかも】
安家森
【とあへんじ】
遠別岳
野芝の草原と原生林が入り交じる不思議なトレイルを行く。

岩手県葛巻町



泊

天台の湯 登山口のキャンプ場から約20分の場所に、新たに誕生した温泉宿泊施設。トロン温泉がトレッキングの疲れを癒してくれる。入浴、宿泊のほか、地元の食材を用いた料理も楽しめる。1 0195-38-3222



食

キッチンガーデン 地元で採れたばかりの新鮮な野菜や手作り豆腐、団子など郷土色豊かな食材が並び、キャンプの食材確保にうってつけのお店だ。1 0195-38-4936

記憶に刻む旅でもある。そして、いくつもの芸術を見つけた。遠く岩手山や七時雨山の頭をぽっかりと浮かばせる「雲海」。青空を階き上げるようにさっと掃いてみせた、巻き雲など、「今日の雲」が青空に飾られていた。ふわふわと漂い、一時としてじっとしてない雲の芸術。稲庭岳トレッキングは、その美しさを

思い出した。そして、いくつもの芸術を見つけた。遠く岩手山や七時雨山の頭をぽっかりと浮かばせる「雲海」。青空を階き上げるようにさっと掃いてみせた、巻き雲など、「今日の雲」が青空に飾られていた。ふわふわと漂い、一時としてじっとしてない雲の芸術。稲庭岳トレッキングは、その美しさを記憶に刻む旅でもある。

めまぐるしく変化する雲の表情を記憶に刻む。

稲庭岳

岩手県浄法寺町

【いなにわけ】

漆の質・量ともに日本で知られる岩手県浄法寺町。稲庭岳はこの地に暮らす人々に信仰の山として永く崇められてきたという。女性的でたおやかな山容は、まるでふさのお袋のよう。山頂へと続くトレイルも出発直後の急登を除いて、優しくのんびりだった。だからこそ楽しめたのが風景。樹林帯では、頭上を覆うプナの緑やダケカンバの白い幹を楽しみ、山稜に出てからは、眼下に広がる絶景と真っ青な空景が待っていてくれた。